

建築版	施工段階	設備工事：	電気	○	設備工事 ポイントシート (4-4)
4-3	躯体工事	防水層貫通処理 (在来工法の浴室、厨房、 プールなど)	空調	○	
			衛生	○	
			その他	—	

温泉の大浴室や高級ホテルの客室浴室、病院の介助浴室などにある在来工法の浴室においては、周囲の壁（少なくとも防水立上り範囲）を躯体で造り防水を施します。そのような浴室の排水管は、必ず防水層を貫通します。またライニングを上手く設けられない場合は、給水管・給湯管も貫通します。仕上げも石やタイル貼りであることが多く、その割付と設備の取出し位置の調整も必要です。天井も吊材の腐食などを検討する必要があります。工程数も多く、慎重な防水納まりの検討が必要です、ユニットバスとは異なる格段の難しさがあります。

※在来の厨房やプールも同様の検討が必要です。

ポイント

■設備の施工要領書を建築担当者も目を通す

- ・防水層貫通は全箇所を抽出し、設備、部位、各項目ごとにリストに整理し、管理用に記号・番号を付けましょう。
- ・防水層貫通処理工法の詳細図も盛り込みましょう。

■建築および設備の施工図に反映させる

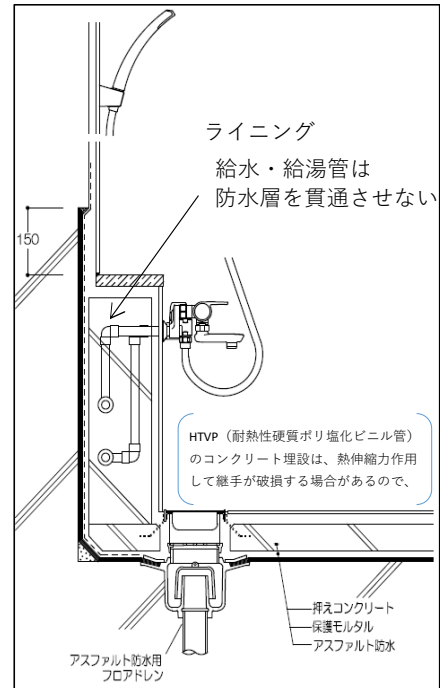
- ・防水層の範囲を明確にし、詳細を施工図に反映するようにしましょう。躯体形状（防水立上り形状、またシャワー廻りは防水が高くなるので躯体も高くなる）を決めましょう。
- ・防水層貫通処理箇所は、全て通し番号を付けましょう。

■設備の検査と記録方法

- ・工程ごとの施工の確認を確実にし、記録を写真に残しましょう。
- ・全箇所の出来形検査を行い、記録に残しましょう。

■容易に貫通させない

- ・排水以外は貫通しないルートを確認しましょう。
(右図のようにライニングを上手く設けると良いでしょう)



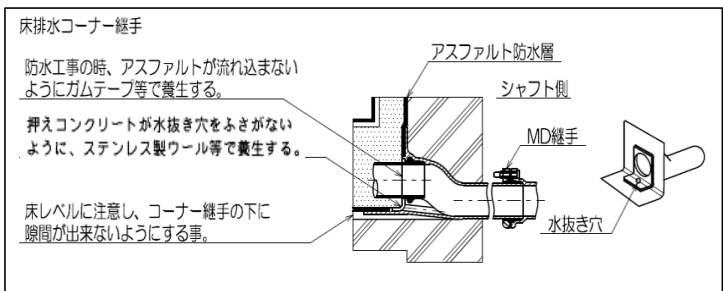
防水層貫通処理の例（排水管縦）

先輩アドバイス

- ・納まりについては、個別に防水業者とよく打合せをしましょう。
- ・全ての貫通箇所を自分の目で確認しましょう。また、防水満水試験に立会いましょう。
- ・作業員を限定して明確にしましょう。
- ・実物を用いて打合せ・計画しましょう。

チェック項目

- 要領書でリストに整理し、管理用に記号・番号を付け、防水層貫通処理工法の詳細図を盛り込めていますか。
- 防水層の範囲を明確にし、詳細を出来るだけ施工図に反映していますか。
- 防水層貫通処理箇所は、全ての貫通箇所に通し番号を付けていますか。
- 工程ごとの施工の確認を確実にし、記録を写真に残せていますか。
- 全箇所の出来形検査を行い、記録に残せていますか。
- 排水以外において、貫通しないルートを確認できていますか。排水では、既製品の金物を活用していますか。



防水層貫通処理の例
(排水管横)

失敗すると...

- ・漏水により物損や機能障害等の被害が発生します。
 - ・漏水箇所を見つけるのに多大な時間を必要とします。→部分補修は不可能で全面補修となります。
 - ・要領書、施工図の内容が不十分であると、意図しない施工がなされ手戻りの原因となります。
- また、施工の記録を怠ると問題発生時に責任の所在が不明確となるので注意が必要です。

共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
	—	○	○	—	—	—	—	—	○
備考	参考文献：						初版発行	2020年12月	
							改訂		